



学校の教育目標「自らとりくみ 輝く佐見の子」

校報 さみ

キラリ

佐見小学校ホームページ <http://samisyo.town.shirakawa.gifu.jp>

白川町立佐見小学校
校長 佐伯 好洋
平成29年度 校報
11月号 (No.8)

全国学力・学習状況調査について

教務主任 佐藤 善保

今年度4月に行った全国学力・学習状況調査の結果と分析についてお伝えします。

この調査は、全国の小学校6年生を対象にした調査で、この結果と分析を「地域ぐるみ」の教育活動に繋げていく1つの材料にさせていただけると幸いです。

【学力調査について】

本校では、国語と算数の授業において、確かな学力の定着を目指し、協同学習を軸にして授業を進めてきました。その授業には、仲間と共に学び合い、ただ答えを求めるだけではなく、その答えの根拠や理由をはっきり話すことを大切にしてきました。また、読む力をつけるために、月に2回ノーメディアデー・家庭読書の日を位置付け、朝読書の時間も「ごはん本」（活字の本）を読むように取り組んできました。

今年度の学力調査の正答率の結果について、国語A（基本）と算数B（応用）は、全国を上回りましたが、国語B（応用）と算数A（基本）は、全国の正答率を下回りました。

国語B（応用）の結果を、出題された問題から分析してみると、問題をよく読んで、最後に書きまとめる問題に弱さが見られました。そのことは算数B（応用）においても、計算の仕方を説明する問題で同様の傾向として表れていました。

【学習状況調査について】

児童への質問調査では、ほとんどの児童が、ものごとを最後までやり遂げてうれしいと思っただけであり、学校へ行くことが楽しいと思っている児童が全国・県の平均値よりも高いです。また、本を読んだり借りたりするために図書館を利用している児童が全国・県の平均値よりも高いです。

しかし、新聞を読むことが全国・県の平均値より低く、400字詰め原稿用紙2枚～3枚の感想文や説明文を書くことに苦手意識をもっていると答えている児童が多かったです。

また、家庭学習の時間が1時間～2時間と答えた児童が多く、全国・県の平均時間より短いことが分かりました。逆に平日のメディア時間が3時間～4時間と答えた児童が多く、全国・県の平均時間より長いことが分かりました。

【今後の取組】

佐見小学校では、今後も国語と算数では、協同学習による学び合いを継続し、根拠や理由を話すことを大切にしながら、終末にはしっかりと学んだことを書くことを位置付けていきたいと考えています。また、高学年は、新聞を読んでスピーチする活動をしていきます。家庭では家庭学習や家庭読書、テレビの視聴時間、ゲームの時間について話題にさせていただけるとありがたいです。

